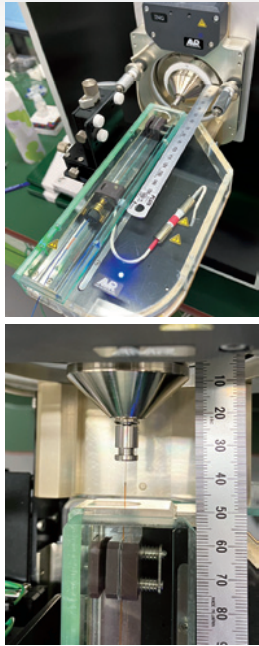


InSplon (インスピオン)

MS注入口に接続したチューブにスプレーチップを挿入し
ナノESIスプレーを安定化させるスプレーシステム



近年プロテオーム解析技術の進歩により、多検体解析の需要が増えています。多検体解析では高い再現性を持つシステムが必要であり、またスプレーの安定性も重要となりますが、スプレーチップの摩耗や汚染がスプレーの不安定さの原因となることがあります。

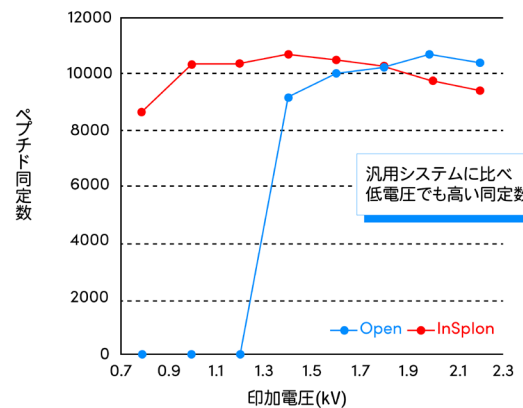
公益財団法人かずさDNA研究所の川島様はこの問題に対処するため、AMR製ナノLCMS用パーツを応用してThermo Fisher Scientific製 nanoLC-MSのためのスプレー安定化システム「InSplon (インスピオン)」を開発されました。InSplonはスプレーを安定化させるためのチューブを使用することで、接続は簡便でありながら高い再現性とスプレーの安定化を実現するシステムです。

従来のナノESIスプレーではスプレーチップとMS注入口の間に間隔を空けますが、InSplonシステムではInSplonチューブを接続したMS注入口に、スプレーチップを1mm挿入することでスプレーが安定化します。このシンプルなシステムにより、スプレーの安定性が向上し、高い再現性を持つ結果が得られることが確認されました。

汎用システムに比べ低電圧でスプレーが可能のため、エミッター（及びエミッター一体型カラム）が長持ち

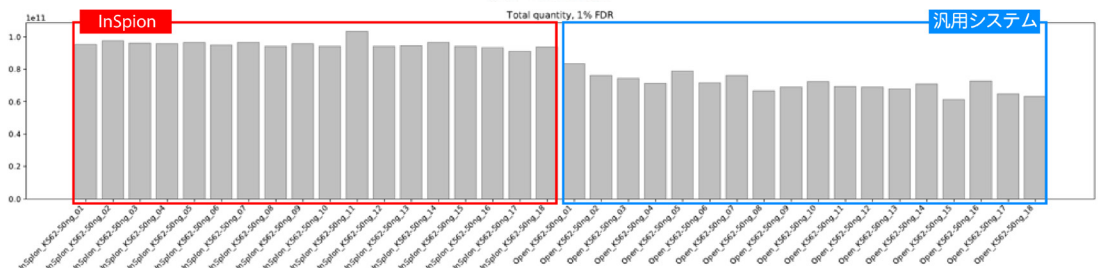
100 ~ 1,500 nL/minの流量範囲で再現性良くスプレーが可能

印加電圧とペプチド同定数

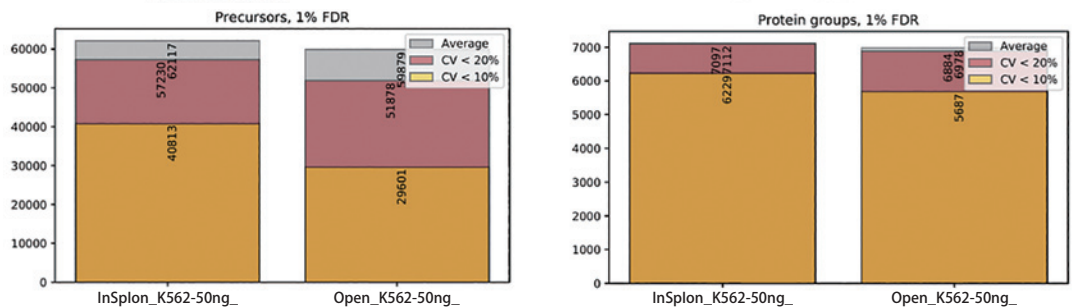


汎用システムに比べ低電圧でも高い同定数

連続測定における安定したイオン強度を実現



高い再現性を実現



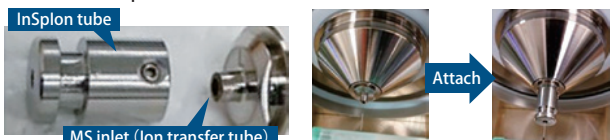
※本商品のご使用にはAMR製ナノイオンソースが別途必要になります

データご提供元：公益財団法人かずさDNA研究所 ゲノム事業推進部 臨床オミックス解析ユニットユニット長 川島 祐介 様

Journal of Proteome Research「Development of a Simple and Stable NanoESI Spray System Using Suction Wind from the MS Inlet」<https://pubs.acs.org/doi/10.1021/acs.jproteome.3c00146>

設置手順

- ①サーモ社純正イオントランスファータubeにInSplonパーツを設置
- ②InSplonパーツのイオン取込口にエミッター先端を1mm程度、差し込む



品番：ISI-HC
品名：InSplon (ハイキャパシティ用)
価格：¥100,000(税別)

エーエムアール株式会社

〒152-0031 東京都目黒区中根2-13-18

メール：info@amr-inc.co.jp

電話：03-5731-2281

<https://www.amr-inc.co.jp/>



エーエムアール



※本資料に記載されている内容は予告なく変更する場合があります